

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年2月28日

事業所名 多機能型事業所ホープみさかえ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・活動内容や利用人数により、活動場所を変えています。	
	2	職員の配置数は適切である		○	・職員数が十分ではないが、それぞれの担当部署はあるものの、お互いが協力し合って対処しています。	・スタッフ不足が否めず、利用者の皆様にご迷惑をおかけすることになっていますが、スタッフ不足を解消し、皆様の要望にできるだけお応えできるようして参る所存です。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○		・児童に応じた机やいすの高さを配慮しています。	・バリアフリー化は出来ている。他に危険用具や個所などないか点検を怠らないようにしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			・整理整頓や清潔を目標にして、清掃や消毒をしっかりとやることとしています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	・目標を設定すが振り返りが十分ではありません。	・職員会議等で振り返りを十分に行い、次に活かせるようにしていきます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		・意向等を把握し、できるだけ改善につなげようと努力しているが完全ではありません。	・職員会議で結果を確認し、貴重なご意見等をしっかりと把握・認識して、今後の改善に生かしていくようにしています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			・評価を行うとともに、ホームページに公開しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	・支援の質の向上にも繋がるので、取り組むようにしたい。	・なかなか外部評価を入れるまでに至らずだが、スタッフのスキルアップの為に組みたいと考えます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・研修を受講しているが、もっと幅広く、またPTやST等、専門性のあるものも受講して行きたい。	・療育に必要なもの等、専門性のある研修受講を増やします。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		・保護者の意向やスタッフの考えも踏まえ、計画作成に反映しています。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○		・保護者の方の意向やスタッフの意見等を踏まえ、適切な項目を種差選択して、計画に反映しています。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			・必要に応じて見直しもすることとしています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		・リーダーが立案し、スタッフからも意見を聞くようにしています。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・療育本やネット情報等の活用しています。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ児童発達支援計画を作成している	○			・個別活動、集団活動のいずれでも活動できるように配慮しています。

	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・なかなか十分な時間が取れないが、合間を見ながら、確認するようにしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・十分な時間が取れず、朝方支援に入る前に行ったり、休憩等時間や、自由遊び時間等合間を見ながらするようにしています。	・勤務時間帯の違いもあり、スタッフが一堂に会して、振り返り・伝達時間がなかなか取れないため、伝達ボードなどを利用したり、情報共有を図ることとしています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		・パソコン入力とは別に、手書きの日誌をつけています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		・保護者の方との話しや、スタッフの意見等を踏まえ、児童発達支援管理責任者が判断しています。	・年2回は実施することとしています。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		・児童発達支援管理責任者が参加しています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			・親子教室や子育て支援会議等に参加し、連携を深めるようにしています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			・現在対象児がいない。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			・現在対象児がいない。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			・児童発達支援管理責任者が主となって、それぞれ施設の担当者会議等で情報共有を図るようにしています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○			・児童発達支援管理責任者が主となって、それぞれ施設の担当者会議等で情報共有を図るようにしています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	・ホープはセンターになっているが、その役割を發揮できていません。	・センターとしてできること、やるべきことを模索しているが、その役割を發揮できていないのが現状です。センターであるべきか否かも含めて、今後、検討が必要と考えています。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		・こちらから積極的に交流を図ることはできていないが、保育園児を受入れ療育を行っています。	
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		・児童発達支援管理責任者が参加しています。	・児発管が参加し、市や教育機関、他事業所との連携を図っています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・保護者様との関りを積極的に持つようにして、共通理解を得るようにしています。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		・実施しています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に説明をし、その後も不明な点にはその都度説明をするようにしています。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		・児童発達支援管理責任者が説明をして同意を得ています。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・定期的ではないが、話しを聞くよう心がけています。	

保護者への説明責任等	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		・保護者の方々もそれぞれの時間があり、忙しく一堂に会するような機会が取れない。コロナ以降、行事も開催できず、そのような場を設けられていないが、今後何とか善処していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		・相談を十分に受け入れ、対応するようにしています。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・おたより(毎月の)にて行っています。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している		○		・十分な配慮が足りず、ご迷惑をお掛けしたこともありますので、今後このようなことがないように心掛けて参ります。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		・子どもさんには絵カード・写真・文字盤を使ったり、ジェスチャーにより意思疎通を図っています。、	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	・コロナ以降、地域との交流が実施できていません。	・コロナ以降、行事に保護者の方も参加できなかったこともあり、今後はまず保護者の方々の参加から始め、地域住民の方へと拡大して行きたい。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○		・マニュアルは作成しているものの、周知ができていない。機会を見て周知を図りたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・毎月1回実施しています。	・実施しているものの、保護者様へ周知が不十分であるため、お便り等でお知らせいたします。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		・契約時に確認しています。変更等がある場合は教えていただくよう願っています。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・医師ではなく、保護者からの聞き取りで対応しています。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		・朝礼時や職員会議等で共有を図っています。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・施設内研修年2回 ・施設外研修と伝達研修 ・人権擁護・虐待防止委員会月1回開催	・人権擁護、虐待防止の施設内研修会を年2回実施、部外研修にも参加しています。また随時、事例等も報告して注意喚起をしています。 ・人権擁護・虐待防止委員会での対策等を周知・徹底することとしています。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○			・拘束をしないことが原則であるが、安全上やむを得ない場合のことを踏まえ、事前に話し合い、方法等を決定しておき、保護者の方々へ事前に説明をして、同意書をいただくこととしています。